

第6回匝瑳市子ども・子育て会議 会議概要

●日時：平成28年4月25日（月） 午前10時00分～午前11時00分

●場所：匝瑳市民ふれあいセンター 1階 談話室

1 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 社会福祉法人九十九里ホーム認定こども園について
 - (2) 匝瑳市子ども・子育て支援事業計画について
 - (3) その他
- 4 閉会

2 出席者

(委員)

齋藤 光雄、石崎 夏江、土屋 聡子、栗栖 幸恵、小関 和雄、
深堀 俊美、熱田 寛明、石郷岡利幸

(市)

事務局（学校教育課） 向後 智子
（福祉課） 大木 進一、鈴木 一弘

3 会議概要

■ 開 会 ■

【事務局】

本日は御多忙のところ、第6回匝瑳市子ども・子育て会議に御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

本日につきましては、東保育園保護者代表の大木委員、そうさ市子ども会育成連絡協議会代表の石川委員が御欠席ということで、あらかじめ御連絡をいただいておりますので、御報告させていただきます。

なお、本日の会議につきましては、過半数の出席をいただいておりますので、匝瑳

市子ども・子育て会議条例の規定により会議が成立しておりますことを併せて御報告させていただきます。

それでは最初に、会長から御挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

■ 会長あいさつ ■

【会長】

こんにちは。外は草花が咲き乱れまして、田植えが始まったということで、春真っ盛りの中、委員の皆様には、お忙しい中御出席いただきましてありがとうございます。思い出してみると今年の3月15日に第5回会議ということで約1年前に検討した結果が匝瑳市子ども・子育て支援事業計画ということでお手元に配布されたと思えますけれども、これを基に事業が進められていると思います。

本日は、議事にありますとおり、社会福祉法人九十九里ホーム認定こども園及び匝瑳市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について事務局から御提案があると思いますので、今回気が付いたところ、こうなって欲しいなと思うところを含めていろいろと御意見を出していただけたらと思います。

■ 議 事 ■

【事務局】

ありがとうございました。

4月の人事異動に伴いまして、新たに就任された委員さんがいらっしゃいますので、御紹介させていただきます。野田小学校校長でのさか幼稚園園長を兼務されております小関和雄様です。

(委員あいさつ) 小関です。どうぞよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

本日の資料につきまして、会議の前に委員の皆様にお届けすることができず、事前に内容を確認していただくことができなかつたことをお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。

それでは、議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、会議条例の規定によりまして、会長に議長として議事の進行をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

【議長】

それでは、早速ですが、議事に移らせていただきます。

(1) 社会福祉法人九十九里ホーム認定こども園について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

【事務局】

それでは、議事の(1)社会福祉法人九十九里ホーム認定こども園について、九十九里ホームから提出された要望書に記載されている施設の概要と児童定員数について説明をさせていただきます。

要望書ということで、確定した事業計画ではなく、あくまでも事業案ということで、資料の取り扱いには御注意をお願いいたします。

お手元の資料1ページをご覧ください。

こちらが匝瑳市長あてに社会福祉法人九十九里ホームから提出された要望書の一部でございます。幼保連携型認定こども園の設立について市の御支援を賜りたいということで今年の1月に提出されております。定員について、1号認定100名、2・3号認定80名、建物概要、建設場所等が記載されております。

続いて2ページをご覧ください。

2つの表がございまして、上段が認定こども園の職員採用スケジュールで、下段の小さい表が年齢ごとの児童の定員数と必要な職員の人数が記載されております。

続いて3ページをご覧ください。

市内在住児童における保育所及び幼稚園の入所児童数についてと題する表で、左から児童の年齢ごとに、平成27年4月1日現在の住民基本台帳人口、平成28年3月1日現在の保育所入所数、同じく幼稚園入所数、保育所・幼稚園に入所していない児童の数をお示ししています。

0歳から5歳の住民基本台帳人口は1,533名、うち保育所に入所している児童は962名、幼稚園に入園している児童が172名、保育所・幼稚園いずれにも入所していない児童が399名となっております。

続いて4ページをご覧ください。

上段から平成24年から平成28年までの各年4月1日現在の認可保育所(園)の数、定員数、入所児童数そして公立・私立ごとの年齢別内訳、下段には平成22年から平成27年までの各年5月1日現在の幼稚園の年齢別児童数、施設の数をお示ししています。

資料の説明については以上です。

【議長】

ありがとうございました。九十九里ホームがあかしあ幼稚園の運営支援をしてきた中で今回の認定こども園の計画をしているということで、偶然あかしあ幼稚園の園長

さんが委員として参加していらっしゃると思いますので、今の説明に付け加えることがありましたら。定員のところで説明にありましたように1号認定というのが幼稚園部分、教育の部分となりますね。2・3号認定というのが保育関係で、2号認定というのが3歳から5歳、3号認定が0歳から2歳という区分になると思いますが、認定子ども園、色々な形があると思いますが、その中の幼保連携型ということで、要望が出されているということですが、いかがでしょうか。この点だけということではなくても全体を含めて何か。現在子どもを育てられているみなさん、御意見等ありましたら。

【委員】

1・2・3号の合計で180人の定員ということですが、今市内の保育所の定員数で一番多いところが須賀保育園で150人なんです。市内の公立と私立の保育園が全部で11か所ありますが、その内の5か所が定員割れの状態なんです。ここで言われているように定員180人の子ども園が新しくできると、以前に民間の保育園の園長さん達からも意見があったんですが、ちょっと定員が多すぎると。都市部のように待機児童がたくさんいるような状況であればともかく、市内では今待機児童はいない状況で、定員をちょっと下げてほしい。多少なりとも民間の保育園との競合が出るということで、この会議の中でそういう話をしてきて欲しいと園長さんたちから言われてきているので、皆さんの意見も聞かせていただきたい。

【議長】

要望書にある定員のことでも今御意見がありましたけども、現状を踏まえて定員のことでも検討していただけたらということですが、どうでしょうか。

【委員】

余り状況はよくわからないのですが、確かに今おっしゃったように180人ということだとこの資料から見てもちょっと多いのかなと。あくまで定員ということなのでそれ以下となると思うんですけども、定員数としてはちょっと多いのかなという印象は受けました。

【議長】

どうでしょうか。他に御意見は。

【委員】

2ページと3ページの資料、これをすり合わせていくと、今運営されている保育所・幼稚園には多少影響が出るんだろうなという印象です。実際に定員を決めるにあたって、どういう状況なのかというのが自分的にはよくわからないので、この定員について意見を述べられる状況にあるのかというのが良くわからないところです。

【議長】

今委員から話がありましたけども、この180人という定員は資料に示された児童の人口などを見てどのように感じられるか御意見をいただければ。

【委員】

今説明のあった子ども園は、以前の会議で話に出た子ども園とは別ということですよ。公立の保育園と幼稚園を1つにしてというものと。であれば、公立と民間の子ども園が2つできるとなると、公立で募集する先生の数、こちらで募集する先生の数と取り合いになってしまう。どちらも充実することができず中途半端になってしまうのではないかと。定員数までは入所しないにしても1人の先生が見られる人数が決まっている中でちょっと心配になってしまう。

【議長】

公立の子ども園についてお話がありましたが、子ども・子育て支援事業計画で今後作っていくということだったと思いますが。

【事務局】

公立の認定子ども園というのは、具体的な予定はありません。子ども・子育て支援事業計画を策定する中で、基本的には現状の施設で充足している認識で、今後検討していくということだと思います。九十九里ホームさんの計画としては、現状のあかしあ幼稚園が老朽化しているということでオーシャンマート跡地に認定子ども園を作るだけではなく、特別養護老人ホームを併せて建設するなど大規模な整備をしたいという要望が出されたということです。子ども園の定員180人というのは、100名というのは今のあかしあ幼稚園の定員で、それプラス保育部分80人という点は、特に根拠資料を付けた要望書ではありません。

その後の経過として、市としてはまだ180人で定員が決まったわけではないんですが、その規模で議会に建設補助金を新年度予算として計上したところです。その議会の中でも定員が多すぎるという意見をいただいております。また、庁内の子育て支援対策委員会というのがあるのですが、そこでも定員については現状を勘案するとちょっと多いのではという意見をいただいております。この子ども・子育て会議というのは、委員の皆さんに定員についていろいろと議論をしていただく場ということで、提出された要望書をそのまま提示させていただき、いろいろ御意見を出していただきまして、その御意見を基に市として事業者と今後詰めていきたいと考えています。

【委員】

今現在のあかしあ幼稚園と九十九里ホームの託児所で預かっているお子さんというのは何人くらいいるんでしょうか。

【事務局】

あかしあ幼稚園は37名だったと思います。託児所については確認しておりません。

【委員】

あかしあ幼稚園の園長としてこの場では御意見を申し上げる立場ではないのかもしれませんが、今自分が知りえる情報ということで、1月に要望書が出て180名ということですが、あかしあ幼稚園は当初定員100名でスタートしているが徐々に園児数が減少して、現在の入園数は39名で、経営としては厳しい状況です。今回の1号認定100名の根拠というのはあかしあ幼稚園の定員数をそのまま出したということで、最近聞いている範囲内では、結論としては、子ども園の定員は120人くらいが妥当だと理事長は考えていると聞いている。託児所については私も把握しておりませんが、それほど多くはないのではないかと思います。資料の3ページなんですが、0歳から5歳の住民基本台帳人口は1,533名、現在保育所・幼稚園に入所していない児童が399名いる。4ページを見ると平成27年度保育所の入所児童数が867名、幼稚園が120名ということで、市内の保育所・幼稚園に入所している児童は987名なので、1,533名から987名を引くと546名でそこから399名を引くと147名が市外に入所しているということでしょうか。

【事務局】

その通りだと思います。

【委員】

この数字は私は初めて見たんですが、現在3ページにある保育所・幼稚園に入所していない児童のうち0歳児は多分ご家庭で見られると思いますが、150人近い方が市外の保育所に入所しておられるということで、その受け皿として新しい認定子ども園を作りたいというのが九十九里ホームさんのお考えなのかなど。先ほど5か所の保育園で定員割れということでしたが、公立保育所でしょうか。

【委員】

公立が3か所で民間が2か所です。

【委員】

その中にはあかしあ幼稚園も含まれていますか。

【委員】

保育所だけで幼稚園は入っていません。

【委員】

そういったことも理事長の耳に届いて、いろいろ考えた結果だと思います。これ以上憶測で申し上げるわけにはまいりませんが、聞いた範囲では定員120名が妥当だと。今後定員数は下げていくと。120名の内訳は詳しく聞いていないので。知り得る範囲で。

【議長】

現状の保育園と認定子ども園では現状子ども園の方が多少条件が緩和されているんでしょうか。保育園は家族の現状なんかを全部出して、どうしても家庭では保育ができないというのを示さないと入所できないとか。

【事務局】

認定子ども園についても1・2・3号認定というのは必要になってきます。幼保連携認定子ども園ですから幼稚園部分と保育所部分を一緒に経営するというので、従来までは幼稚園については文部科学省の所管、保育所については厚生労働省の所管ということで、以前も子ども園制度というのはあったんですがそれぞれで認可を受けていただくということになっていたが、認定子ども園法ができて、それを一本化して認可していただく、その辺が規制緩和となった部分です。実際に入っているのは従来と同じく幼稚園・保育園の認定を受けていただいて、必要なところに入っているということなんです。

【議長】

ほかの委員さんどうでしょうか。お考えでも結構です。

【委員】

1号は幼稚園なので4時間だけ。今39名しかいないので、設定しても正直無理じゃないかなと思っているので。個人的な考えですけど。

【議長】

幼稚園部分とその後の預かり部分でやっていくというのは。

【委員】

どこの幼稚園でもその部分をやらないと。認定子ども園はそんな形になるんじゃないかと。

【事務局】

補足させていただくと、幼児教育という部分でも平等に受けられるようにということで幼稚園機能と保育所機能を同時に持つというようなことで出てきた施設でござ

います。

【委員】

100名定員で39名の入園数では相当厳しいと思いますが。

【委員】

相当厳しいと聞いています。建物もかなり老朽化しているので、それを建て直してというのも難しいのかなと。

【委員】

子ども園になるということで、運営は直接九十九里ホームさんがやることになるのでしょうか。

【委員】

詳しくはわかりませんが、幼稚園型の認定子ども園だと多分、旭のこひつじとか海上とかは4月から認定子ども園になったと聞いていますが、そのまま学校法人が運営していて、あかしあの場合は幼保連携型ということで社会福祉法人になるのかなと。

【委員】

開園の予定は何時なのか。

【事務局】

九十九里ホームさんから出された予定としては来年の9月です。

【委員】

開園したら今のあかしあ幼稚園の建物はどうなるのでしょうか。

【事務局】

建物そのものがどうなるかはわかりませんが、聞いた話の中では、社会福祉法人の方で認定子ども園を設立して、現状のあかしあ幼稚園の方を廃園すると聞いている。当然いずれは建物を壊すと思われる。

【議長】

そのほかで何かありましたら。

【事務局】

今後の流れということで、まず九十九里ホームさんから市の方に要望書ということで提出されまして、要望を受けて定員等を市で決定いたしまして、市から県に対して

協議をして、県から国へと協議の流れが続くわけなんですけども、まず市の方で、要望をいただいた中で定員というのを決めていただくことになるんですが、子ども・子育て会議条例の規定で、定員についてはこの子ども・子育て会議でいろいろ意見をいただいて市長に意見を述べるとなっておりますので、色々と数字を言っていたけるとその御意見を九十九里ホームさんとも詰めていけるのかなと思いますので、御意見をいただければと思います。

【議長】

先ほどからもちらちら出されていますけども、定員問題について事務局からも話がありましたがいかがでしょうか。それを受けて検討したいというお話ですので。

【委員】

先ほど別の委員さんからお話があったように、120人ぐらいということなんで保育園側として是非120人で話を進めてもらえればなと思います。

【議長】

180人で出されていますけども、そこを120人という御意見が出されましたけどもその辺どうでしょうか。

【委員】

八日市場幼稚園も園児数が極端に減ってきてまして、年長で12、3人くらいしか入園しないということだったんですけども、この子ども園というのは働いているお母さんにとってすごい魅力的な、働く予定のお母さんたちにも魅力的な、助かる、預けられる場所だと思うけども、やはり、園の先生に聞いても子ども園ができることによってこれから先どうなってしまうのかというのを一番心配しているという話を聞いているので定員は120人というか、あまり多くなると幼稚園の方も大変なのかなというのがあります。

【議長】

児童の取り合いになってしまうと大変という御意見をいただきましたがどうでしょう。

【委員】

私もなるべく少ない方がいいのではと思う。今ある幼稚園とか保育所も定員割れしていて、子ども園ができるともっと定員割れしてしまうと思うので少ない方がいいのかなと思う。

【委員】

子どもの数が限られていてそれに対しても定員というのが公立も私立もあるので、それとの兼ね合いで、昔からの定員がこうだからというのではなくて、今の現状に合わせた定員数を話し合っていていただくといい。子どもだけでなく先生も近隣にお住まいの方が就職すると、こちら定員が多いから先生が欲しいとか出てくるとそれも成り立たなくなるとか出てくると思うので、そういったことから考えて定員を公立にしても今度設立される子ども園にしてももうちょっとよく話をされた方がいいのかなど。この資料だとどこの保育園が定員が何人というのがわからないので。保護者の皆さんが自分の生活スタイルに合った保育園を選ぶ権利というのもあると思う。そんな中で経営が難しくなるところ、受け入れきれなくなるところもあると思うが、それはそれぞれの経営努力だと思うので。

【委員】

小学校の立場から考えると、小学校があるところにそれぞれ保育所があって、保育所・幼稚園から出てきた子供たちがそのまま小学校に上がってくる、かなり地元密着という感じがあったと思うんですけども、今のご時世でも多様な学びの場というのがあってもいいのかなという思いがあるのが1つと、新しい認定子ども園ができるに当たっては、経営が成り立たないというのがあってはならないことだろうと思いますので、その辺のことも総合的に判断していただきながら決定していただくしかないのかなと考えています。ただ、可能であれば共存共栄というかこれまで続けてきたものも大事にしていきたいながらという考えもあります。

【委員】

新しい施設に入る人も、近くの施設に入る人もそれぞれの親御さん次第で選ばれると思うので、せっかく新しく建てるんだから経営の成り立つような人数で設定してやっていたらいいと思う。

【委員】

在籍人数が増えていけばそれに合わせて定員も増やすというのがいいと思う。あまり現実離れした数字では運営も大変だと思うのでその辺兼ね合いを考えてもらいたいなと思います。

【委員】

委員としては同じです。別の立場では理事長の方に伝えたいと思います。ただ気になっているのは、現在150人近い方が、職場の関係でということもあるかもしれませんが、匝瑳市外の保育園・幼稚園に通っているということについて、市として子育ての一環として幼稚園・保育園あるいはその他施策においても魅力のある匝瑳市というものを考える必要があると思う。

【議長】

預けやすいところということで、職場の関係というのが多いのかなと思いますが、その辺はよくわかりませんが。さて、定員についていろいろ御意見を出されましたので、事務局には今出された意見を吸い取っていただいて、もっと定員を下げてくださいの方がいいというお話ですので、敢えてまとめませんのでよろしいでしょうか。この他さらに何か事務局から子ども園について聞きたい御意見等ありますか。

【事務局】

ありません。

【議長】

それでは社会福祉法人九十九里ホーム認定子ども園については、たくさん御意見を出していただいたので終了させていただきます。

続いて議事の（２）匝瑳市子ども・子育て支援事業計画について、事務局から説明をお願いします。

（資料に基づき事務局から説明）

【議長】

ありがとうございました。ほとんど実施中ということでいくつか未実施の点について御説明いただきましたが、皆さんの御意見を踏まえて作られた事業計画ですので、ご自分の御意見等を踏まえて見ていただいてから、御質問等お願いしたいと思います。

２ページの病児・病後児保育について、この会議の中でもたくさん御意見の出された部分ですが。

【事務局】

市の計画といたしましては、新しい市民病院の建設計画の中で病児・病後児保育に対応したいという内容がございました。今回の九十九里ホームさんの認定子ども園についてもその点について含まれていると伺っております。

【議長】

ここで言っていた意見が全て実行されるとは限りませんが、今後につながることもあるかと思います。子ども・子育て支援事業計画策定の話の中で、小児医療に特徴を持たせていただきたい、東総地区の拠点になるような、旭市には大きな病院が既にありますが、多古町や隣の町から患者が匝瑳市を目指してくるような、あそこに行けば何とか助けてくれるというようなそういった小児救急医療なども含めてぜひ

検討してもらいたいと話した経緯があります。その辺も新しい病院ができるということで要望もたくさんあることと思いますが、その辺を中心にやってもらうと人口も増えてくると思ういろいろな面に波及してくるのではないかと思います。全体通してどうでしょうか。御質問とかありましたら。

【委員】

新しい市民病院は小児科を作る予定はあるのでしょうか。

【事務局】

病院の方は病院の方で今後計画を詰めていくことになると思うのですが、現状で見ると市民病院に小児科はないというところですので、小児医療について御要望があったというのはお伝えしておきたいと思いますが、現状ですとなかなか厳しいのかなと思います。

【議長】

是非そういった会議等ありましたら、福祉課の方からぜひ話をさせていただきたいと思います。

【事務局】

機会がありましたら、そのようにお伝えしたいと思います。

【議長】

進捗状況の実施というところで、平成27年3月にこの計画が出たんですけども、今まで実施していなくて、その後新たに実施したものというものはあるのでしょうか。前から継続しているものを見直してというものもあるのでしょうか。

【事務局】

計画が策定された後に新規に始めたものということだと、申し訳ありませんがまだ把握しておりません。

【議長】

その他、ありませんか。では未実施のところを一步でも実施の方向に近づけていただけるとお願いをしまして、この進捗状況についてはよろしいでしょうか。

それでは3点目のその他について事務局から何かございますか。

【事務局】

事務局からは特にございません。委員の皆さんからこれまでを通して何かございましたらお願いします。

【議長】

それでは全体を通しまして、御意見・要望等ありましたら。この会議は定例会ではありませんので、委員の任期が7月までということですから御意見等ありましたら言っていただければ。それでは特に無いようですので以上で議事の方をここで閉じさせていただきます。委員の皆さん御協力ありがとうございました。

■ 閉 会 ■

【事務局】

議長におかれましては、円滑な進行をいただきまして、ありがとうございました。

本日は九十九里ホーム認定こども園と匝瑳市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について御審議いただきました。御提案いただいた内容を九十九里ホーム認定こども園整備計画の見直しの参考にさせていただきたいと思います。

また、匝瑳市子ども・子育て支援事業計画につきましては、行政と関係機関のネットワークを一層拡大して推進してまいりたいと思います。

それでは、以上をもちまして第6回匝瑳市子ども・子育て会議を終了させていただきます。

長時間にわたり、誠にありがとうございました。